

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

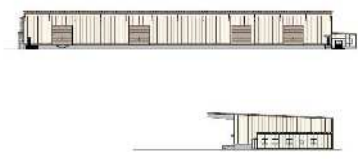
1. 建物概要					
建物名称	(仮称)マルコー・トランスポート(株)倉庫 新築工事				
建設地	新潟県新潟市東区山手1-174-1、174-2、174-3 新潟県東区国府大学大丸町新築地30207-10、207-11、207-12				
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし				
建物用途	工場				
竣工年	2021年10月 竣工				
敷地面積	8,800.26 m <sup>2</sup>				
建築面積	2,577.50 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,136.28 m <sup>2</sup>				
階数	地上1F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2021年3月16日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
			B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{45.1}{40.3} = 1.1$	
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	-
	3.0		維持管理	Q2.1.3	-
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
	2.5		信頼性	Q2.2.4	2.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
	3.0				
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	-
	#DIV/0!		自然エネルギー利用	LR1.2	-
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア		節水	LR2.1.1	4.0
	4.3		躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
	2.0		敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
	2.5		地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
<p>節水機器やリサイクル材(躯体材料以外)を活用して、環境に配慮している。躯体と仕上げ材は容易に分別可能、また再利用できるユニット部材を用いており、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。</p>					

# CASBEE®新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルコー・トランスポート(株)倉庫 新築工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市東区(仮称)マルコー・トランスポート(株)倉庫 新築工事	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	5人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 竣工	評価の実施日	2021年3月16日
敷地面積	8,800㎡	作成者	杉澤毅
建築面積	2,578㎡	確認日	2021年3月16日
延床面積	2,136㎡	確認者	杉澤毅



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★☆☆ B+: ★★☆☆☆ B: ★☆☆☆☆ C: ★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 0 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 0 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 0 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.3

Q 環境品質	LR 環境負荷低減性
<b>Q1 室内環境</b> (スコア: 0.0) 音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	<b>LR1 エネルギー</b> (スコア: 0.0) 建物外皮の: N.A., 自然エネ: N.A., 設備システ: N.A., 効率的: N.A.
<b>Q2 サービス性能</b> (スコア: 3.5) 機能性: 3.0, 耐用性: 4.0, 対応性: 4.0	<b>LR2 資源・マテリアル</b> (スコア: 3.4) 水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.0
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> (スコア: 2.2) 生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5	<b>LR3 敷地外環境</b> (スコア: 3.3) 地球温暖化: N.A., 地域環境: 3.4, 周辺環境: 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
仕上げ材や節水機器など、環境に配慮した建物となっている。内部は自由な大空間となっており、効率良く運営できるように配慮している。	特になし
<b>Q1 室内環境</b> 評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い仕上げ材を使用して、建物の長寿化を図っている。また、階高や空間にゆとりを持たせることにより、利用者にとっての快適さが得られている。
<b>LR1 エネルギー</b> 評価なし	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水機器やリサイクル材(躯体材料以外)を活用して、環境に配慮している。躯体と仕上げ材は容易に分別可能、また再利用できるユニット部材を用いており、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 空気を広く設けることにより、風の通り道を確保している。また、植栽により良好な景観を形成している。敷地周囲にはメッシュフェンスや外灯を設置して、防犯性を高めている。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼機器を使用しておらず、環境配慮に努めている。また、駐車場を確保しており、建物の運用時に交通負荷が発生しないよう取組みを行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される